

コクレオてらす

写真: こどもの森 入学と進級を祝う会



もうひとつの”新しい学校づくり”

佐野 純

いよいよコクレオの森の”2校目”の「新しい学校づくり」が、具体的に動き出しています。今年度中にはある程度は形が見えているかもしれませんが、一方で21年目となる眞面こどもの森学園は今の場所で学校を続けます。中学部は今年度で10周年です。ここまで続けてきた価値は大きいと思います。

ただ、昨今では実に様々な新しい学校が生まれています。コクレオの森のサスmanaから生まれるような市民が作るものから公設民営のものなど様々な形がありますが、確実に増え続けています。また文部科学省も学びの多様化学校を全国で300校設置することを掲げています。そのような中で無認可のオルタナティブスクールとしての眞面こどもの森学園はこの先どのような形で残っていくのでしょうか。それとも必要がなくなってしまうのでしょうか。それはまだわかりませんが、場所(place)というものは、数学や科学で言われる空間(space)とは違い、個別で特有の

ものです。似たような理念やカリキュラムであっても、そこに関わる人や場所が違えば同じものにはなりません。眞面こどもの森学園という場所にも、他の場所と取り替えが効かない大事な価値があるはず。その時その時に今の最善、今必要なものは何かを問い続けて、共につくり続けてみたいと思っています。

神道では、神の魂として和魂(にぎみたま)と荒魂(あらみたま)があると言われています。和魂は優しく平和を守るような神の側面を意味し、荒魂は崇りになるような荒々しい側面を意味しますが、同時に今あるものを破壊して新しいものを生み出すエネルギーを持つ魂でもあります。その両面があって初めてバランスの取れた健全な状態になります。これからも今までのことを守っていくだけでなく、場合によっては壊したり、変えてしまったりする部分があっても、新しいものを生み出していく気持ちで学校づくりを続けていきます。

こどもの森



今年度はどんな体験が生まれるだろう？

昨年度は、子どもたち発信のいろんなイベントがありました。公立学校に通っていた人が「公立でやってた体力測定をやりたい」と言って企画したり、「Among Usというゲームを真似した遊びをやりたい」と言って学校と公園で2回イベントを企画したり、「低学年のみんだからこそ楽しめるイベントをやろう」という思いから「こどもの森城」というダンボール迷路をつくったりしました。

お泊まり会も2回実施しました。2回目は僕が育休に入るタイミングでもあり「スタッフはあまり手伝えない」ことを伝えると、予約など大人の協力がなくてもできる学校でお泊まりをすることになり、お昼休みの時間を使って自分たちで準備を進めました。当日は片道1時間かかる距離を歩き、最大傾斜80度の滑り台を滑る大冒険をしました。

新年度が始まるとスタッフもいろんなことがやりたくなります。外でどろんこ遊びもしたいし、みんなで料理もしたい。いろいろ考えているうちに1学期の予定もどんどん埋まっていってしまいます。ですが、ここは「子どもが学びの主人公」の学校。昨年度もこれだけ子どもたちからの企画があったように、今年度もこのメンバーだから生まれるものがきっとあるはず。時間と心に余白を持ちながら、子どもの声を大事に、いろんな体験と学びが生まれる1年を楽しみたいです。

子どもたちがそれらの体験を味わえるように、そして皆さんにお伝えできるように記録と環境整備に邁進します。(矢吹 卓也)

高学年を担当しての思い

こどもの森の子どもたちの成長を植物で例えるなら、低学年はぐんぐん伸びる茎と葉っぱ。エネルギーに満ちた可能性のかたまりです。まだまだ大人の手をたくさん借りる時期です。高学年は開花の時期。かなり自立してきて、自分たちだけで物事を進める力が育っています。低学年の頃からこどもの森の学びのエッセンスを根っこにたっぷりしみ込ませ、色とりどりの愛らしい花を咲かせてくれます。そして中学生は、一度咲いた花が枯れ、それが土に還り、新たな芽を出し、茎と葉を伸ばす時期。「自分とは何か」の探求が本格的に始まる時期といつてもいいかもしれません。

私はここ数年、高学年の担当をする中で、たくさん子どもたちが花開く姿を見てきました。花が咲くまでの過程も人それぞれ。学習が思うように進まない人、友だちとの関係に悩む人、自分の特性と周りとの折り合いが難しい人など、みんな何かしらの課題を抱えながら生きていました。スタッフは折に触れ、こどもの森で大切にしている「自分も人も大切に」「対話を通してともに作る」を軸に、関わりを続けてきました。子どもを変えようとするのではなく、自分の内面を見つめなおすこと、子どもの生きる力を信頼することが何より大事であると、今は確信を持って言うことができます。だから、高学年のうちに花が咲かなくても大丈夫。その人のタイミングで必ず花は咲きます。最近では、その証拠もたくさん出てきました。卒業生たちがとても素敵に成長して、目の前に現れてくれるのです。「自分の花」を咲かせた卒業生たちに、勇気づけられています。(守安 あゆみ)

モヤモヤと共に

3月13日、中学部からは7名が卒業していきました。卒業式での一人ひとりの言葉を聞きながら、こどもの森で大切にしていることがそれぞれの人に伝わっていたんだと改めて感じました。卒業生たちは自分の人生をデザインするための一歩を踏み出す姿を見せてくれました。

中学生というのは、「こうなりたい」という理想に、心と体がついていかず、焦りや苛立ち、もどかしさを感じている時期なのだと思います。そして、いろんな個性の人が集う環境の中で人間関係にモヤモヤを感じることもあるようです。自分を押し殺すことはしたくないし、相手との関係性を切り捨てることもできないからこそ、モヤモヤするし面倒くさい。お互いになんだかんだ思うことはありながらも、相手のことを「根はいいやつ」だと言って、その人間性を否定はしない彼らを見ていると、自分も人も大切にするとすることは、面倒くささを抱えながらも共にいることなのかなと思います。

スタッフとしても悩んだり迷ったりしながら、一緒に過ごしてきました。自信をなくしている人をどう温めていけばいいか、結果を見越して行動できずにいる人の背中をそっと押すにはどうしたらいいか。そして、こちらがその反応に戸惑うことがあるとしても、こどもの森で過ごす日々の中で、それぞれに根付いていくものが確かにあるということも知りました。形は変わっても、これからもこどもの森で中学生を見守っていきたいと思います。(鍋内 郷子)

卒業生より

こどもの森の卒業生の今 / 17年度&20年度卒業生

『色々からたくさん学ぶ』 福崎 優和 2017年度小学部卒業

僕は子どもの頃から、勉強があまり得意な方ではないので高校進学を考えた時に、普通科などは合わないと感じていました。また、勉強よりも自分に興味があったものを伸ばせるような性格だったので、その時に好きだったパソコンなどの技術を伸ばすため、公立の情報系の高校に進学を決めました。

高校では、パソコンの知識を学びながら、毎日を楽しんでいました。情報系のことをするのはとても楽しく、その時の将来の夢はプログラマーでしたが、ある時、友達がギターを勧めてくれて、ギターを始めるようになりました。ギターを弾くうちにどんどん好きになって、作曲家になりたいという気持ちが強くなりました。しかし僕は情報系のことをやっていた良かったなと思います。今やっている作詞作曲に、僕が高校で学んだプログラムの知識を活かして、作曲りに励んでいるからです。

僕はやりたいと思ったことは色々やってきました。その色々からたくさん学べて、今の自分があるのではないかなと思います。「自分に興味があったものを伸ばせるような性格」だと気付いたり、やりたいと思ったことを色々やってこられたのも、こどもの森で過ごした時間があったからだだと思います。春からは、大阪芸術大学への進学が決まりました。これからは芸術の道を進んでいきたいと思っています。

『新しいアドベンチャー』 下間アシア麻里 2017年度小学部卒業

小6の1年間こどもの森に通いました。卒業後は関西学院千里国際中等部に入学し、高等部卒業までの6年間通いました。英語力が身についたことで選択肢が広がり、英会話スクールのバイトやキャンパスのベビーシッタークラブで子どもたちと過ごした時間は良い思い出です。また、多様なバックグラウンドや個性を持つ人たちと出会い視野が広がりました。楽しいこともそうでないことも全て貴重な体験です。今年の9月よりヨーロッパでデザインの勉強をする予定です。新しいアドベンチャーを楽しみにしています。

『自分の想いを伝える難しさ』 井上 拓実 2017年度小学部卒業/2020年度中学部卒業

私は高校から大阪を離れて、栃木県にあるサッカーの強豪校へ進学しました。高校に入り、学んだことはたくさんありましたが、一番の学びは「相手に自分の想いを伝える難しさ」です。サッカーはチーム競技なので、チームの輪や味方のことを考えない発言行動をする選手に対して、良い方向に導いてあげなければなりません。そこで大事になってくるのは、相手に伝えたとしても、相手が変わらなければ単なる自己満足ですし、何の意味もないということ。相手の行動や発言が変化して初めて相手に伝えたと言えます。実際に「チームのために変わってくれ」と言うのと、相手自身のことを思って「変わった方がいい」と伝えるのでは、様々な相手と話してきた中で圧倒的に後者の方が伝わり、変化してくれと実感しました。これを分かっているかどうかは、組織に大きく影響すると思います。

高校3年間で自分が大きく成長したのは、「相手に自分の想いを伝える難しさ、大切さ」を実感できたことです。

『自分や周りのために行動できる人に』 吉田 そら 2020年度中学部卒業

私は通信制の高校に進学し、登校日が少なく暇なのでアルバイトを始めることにしました。まず始めたのは百貨店の中の魚屋でお寿司を作るアルバイトです。最初は不安で緊張しっぱなしでしたが、優しい職場の方達のおかげで楽しく働くことができました。働く中でトラブルが多くあり、上司はなかなか取り合ってくれなかったのですが、その度にパートさんたちが率先して何度も訴えかけてくれたり、改善方法を見つけて共有してくれていて、私もそんな風に、投げやりではなく自分や周りのために進んで行動できる人になりたい、と感じました。大人と一緒に働くことは不安や緊張もたくさん感じましたが、勉強になることが多く楽しかったです。他にもいくつかアルバイトを掛け持ちして、とにかく働くことに全力を尽くした3年間でした。

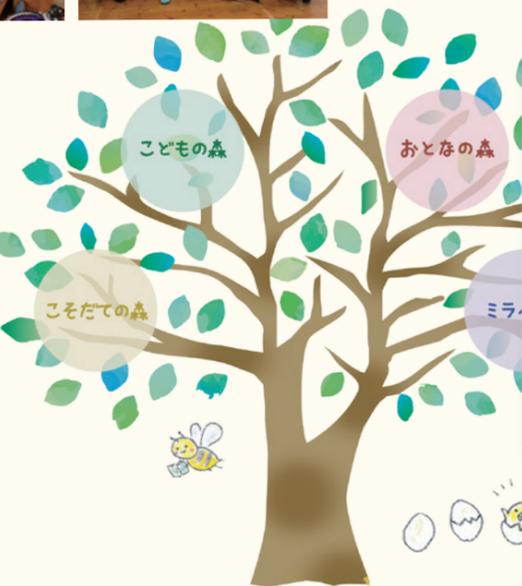
この4月からは音楽系の専門学校へ通います。専門学校では、大人たちだけではなく同世代の友達との思い出をたくさん作りたいです(笑)。大好きな音楽に関わることを貪欲に、楽しく学んで実りある学校生活にします!

トピック!

「もうすぐ着工! “中学部の新しい学び場”」

こどもの森中学部の7名がウッドテラス&図書室改装プロジェクトに取り組んでいます!どんな形にしたいのかを何度も話し合い、クラウドファンディングでご支援いただき、いよいよ5月には施工に入ります。1年前はまだまだ構想段階。手探りで少しずつ進めてきました。見切り発車で、企画倒れに終わる可能性も十分にありましたが、なんとかその都度、手を差し伸べて助けてくれる方、協力してくれる方に出会い、今があると実感しています。

このプロジェクトでは、「想いは、実現させていくことができる」ことを実感できる機会に出会えました。中学生のプロジェクトになってくると、自分の力だけでは叶わないことが出てきます。それでも自分の想いを実現させるために、たくさんの困難やハードルはあるけれど、こういうことがしたい、こうあってほしい、という想いを他者に伝える。届くこともあれば、届かないこともあるけれど、少しずつ理解を得て、積み重ねていく。そして、自分の叶えなかった想いを形にしていく。そんな経験は、自分の周りや、社会に疑問を持つ時にも、何か変容を起こす力になるのではないかと思います。中学部のウッドテラス&図書室、風通しが良く、とても居心地の良い素敵な場所になると思います。完成したら、ぜひお越しください~!(藤丸 浩志)



保護者より

23年度こどもの森卒業生の保護者 特別編



私の子育てはほぼ完了いたしました

こどもの森での6年間を振り返り、卒業を迎えた今、感謝と次のステージへの期待と寂しさが入り混じった複雑な感情に包まれています。親子で悩み考えそして成長した6年間。この間、娘は多くの人とぶつかりながら悩み、考え、そして自らの意思で決断することを学びました。親として、私は娘に寄り添い見守ることを学びました。

人間関係を悩み苦しんだ6年間があったからこそ今の私たちがいます。苦しむたびに娘は自ら考え行動し、失敗し、そして成功してきました。今では自分で決めたことに対して自信と誇りを持って行動しているように感じます。最近の口癖は、「ライラの人生なんだから自分で決める」。

これからの人生で彼女は多くの困難に立ち向かうはずですが、でも、困難に直面するたびにこの6年間で学んだことが役立つと信じています。あゆさんから伝授いただいた「困難に立ち向かって親がすぐに手を差し伸べるのではなく、子ども自ら解決策を10個決め、一つずつ試していく」作戦。我が家はこの作戦を6年間実行してきた結果、今があります。作戦を伝授して下さったあゆさん。そして娘の突拍子もない行動に忍耐強く付き合ってく下さったスタッフの皆様、6年間本当にありがとうございました。(宇田 若菜)

子育ても、自分自身の人生も、自分らしく

こどもの森へ来たのは小学5年の時。学校へ行けば泣くこともしなければ笑うこともしない、無に近いそんな女の子でした。「自分を表現するのは言葉でなくてもいいんだよ」と言ってもらい、筆談やカードを使ってやり取り。家では話せるけど特定の場所では話せなくなる、場面緘黙症。それも、周りにも支えてもらいながら、今では自分の一部だと言えるようにまじり込みました。お洒落やメイクやネイルが小さい頃から大好きで、中学になった頃にはミニ講座でメイクについて発表しました。とーってもキラキラし、スラスラ話せました。自分の「大好きなこと」だったからです。「公立ではなかなかできない経験で、こどもの森だったから、自分の好きも好きと言えたんだ」と教えてくれました。

自分の「好き」をこどもの森で見つけ、高校も美容の道へと進みます。私は、「母親だからどうかしてあげなくちゃ」と、ずっとずっと見えない先のことばかり心配していたように思います。失敗も学び。私はそれを娘を通し教えてもらい、「子育ても、自分自身の人生も自分らしく」に変えていくことができました。そうやってからは起こるほとんどのことは笑い飛ばせるなーなんて思う程です！私たちが失敗し、そして学び、これからも自分流に生きていきます。こども森に出会えたことが宝物です！みんなありがと〜^_^ (藤本 かほり)

こどもの森に出会えて良かった

3年前の4月、稀は地元の中学ではなく、自宅から2時間もかかる箕面のこどもの森に行くことを選びました。入学式は、これから始まる新しい学校生活に緊張しながらの笑顔でした。公立の小学校で、どちらかというと受け身で過ごしてきた稀にとって、こどもの森の「自分で考え、意見を出し行動する」というテーマは、最初は受け入れることすら大変で、1年目は周りについていだけで精一杯。疲れてしまい休むことも度々ありました。それでも、学園の大人が稀の得意な物作りや絵をいつも褒めてくれる環境の中、少しずつ自分に自信が持てるようになり、笑顔も増え学校の出来事も楽しそうに話してくれるようになりました。2年生で文化祭を提案し、仲間と協力してやり遂げたことは稀にとって大きな成功体験になったと思います。

私はずっと稀が変わったと思っていたけれど、それは実は間違いで、こどもの森の教育が子どもの本来持つ力を引き出してくれたんだと気がきました。子どもが内面から自信に溢れさせそうに生きている姿を見ると、親も自分自身を見つめ直すきっかけにもなります。私も子どもたちを通して多くのことを学び、一緒に成長させてもらってきました。こういう学校に出会い学べたこと、親子ともども本当に幸せだと思います。4月から高校の芸術コースで絵を学んでいきます。自分の人生を自分でデザインし始めた娘が頼もしいです。

これからもこどもの森(コクレオ)をずっと応援します！3年間ありがとうございました。(社内 まゆみ)

見守る姿勢

中学校生活を振り返って真っ先に思い出すのは、入学前の学校体験です。体験3日目を終えた娘に「今日はどうだった？」と聞くと、「3時間くらい1人でずっとギターを弾いていた」と言うのです。(体験なのにひとりぼっちで3時間ギター??)と驚きつつも平静を装い「へえ、ずっと1人で？」と返すと、「うん。あ、途中からスタッフが同じ部屋で仕事してたけど。2階で弾いててけど風が通って気持ち良かった〜」と話してくれました。ハッとしました。今朝まで極度に緊張していた娘がリラックスできて！さりげなく見守りつつ、3時間もギターを弾かせてくれたんだ！凄い！こどもの森に入学してほしいと心から願った瞬間でした。

春に入学後は低空飛行のまま時間が過ぎました。そして秋に行われた8日間のベトナム研修旅行でクラスメイトと距離が近くなると、学校生活を積極的に楽しむようになりました。またベトナムという国について想定外の発見や感動があり大好きになりました。その頃からファシリテーションに興味を持ったり、勝ち負けに以前ほど拘らなくなったり、大人と対等に会話できるようになりました。そして卒業まで自分に正直に、やりたいことを熱意を持ってやり続けることができました。

娘の持つチカラを信じて必要に応じた距離感で見守り、時に手を差し伸べて下さったスタッフの皆さんには感謝の気持ちで一杯です。本当にどうもありがとうございました。(高山 奈々)

箕面こどもの森学園の卒業式を迎えて

3月13日の卒業式は本当に心のこもった素晴らしい式でした。卒業生一人ひとりに対する言葉を聞いているだけで、スタッフの方々がどれだけ温かい目で見守って下さったかがよくわかりました。スタッフの皆さんのきめ細かい対応にはただただ感謝しかありません。思い返せば2年前、体験入学でのスケートが全ての始まりでした。行き場を失い、自信をなくしていた息子、受け入れていただいたものの、これからどうなるんだろうと親子ともども不安なスタートでした。そんな息子が卒業式では自信を持って自分の言葉で気持ちを強く伝えていました。息子は当初から言うようにぶれずに元々の志望校だった高校に巣立っていきます。親としては新しい環境に対して不安もありますが、子どもの方がもっと逞しくなっていることでしょう。

今後の息子の人生において、こどもの森で過ごした時間は大切なものとしてずっと残っていくことに違いありません。今ではこどもの森のような子どもの個性を尊重するという贅沢な環境で学び、過ごせたことは、一般の中学に通うよりも良かったと思っています。

そして終わってみれば、息子も私もコクレオやこどもの森の大ファンです。これからの社会はこどもの森のような一人ひとりの個性を重視した環境で育った主体性のある子どもたちが作っていくと信じています。そしてこんな学校がもっと大きくなり、数が増え、こんな教育が日本中に広がっていくといいなと切に願っています。(橋 雅人)

うぬがうぬでいられた場所

小6になった頃だったかな。突然、「うぬ」という一人称を使い出したのは。これが中二病というやつか！小学部の卒業式の式次第にも「うぬ」と記載されていたことを思い出すと今でも吹き出してしまふ。いつまで続くかな？と見守っていたけれど、中学部の3年間も「うぬ」だったね。髪を伸ばしたり、赤メッシュを入れたり、ハロウィンでの仮装は、他の追従を許さないうぬワールドを創り上げていたね。小5でこどもの森に転入する前は、そんな個性は周囲の人たちに受け入れられないと思いついて、自分が自分であることを抑え込んでいたよ。

正体不明の不安の前で、私たち親子の心は小石のように小さく硬くなっていきました。そんな葛藤が私たちをこどもの森に出会わせてくれました。うぬに負けず劣らず個性豊かな子どもたちとスタッフに囲まれて、怒ったり、悩んだり、笑ったりすることを存分に味わったのだと思います。標準的な人なんてどこにもいない、標準的なフリをしている人はたくさんいるけれど。それに気が付けば、自分の内側にある気持ちや衝動をアウトプットするだけ。それだけでこんなにも元気になる。だからね、これからも、うぬがうぬのままにいられた場所で生きていこう。難しい時も悩むこともきっとあるけれど、そんな時に道しるべとなるのはこどもの森での思い出や出会った人々の笑顔だよ。(足高 聖子)



黒川里山センターより

🍀 4/3より新棟オープン 🍀

兵庫県川西市黒川地域に位置する、黒川里山センターは、廃校となった旧黒川小学校を利用した施設です。コクレオの森が川西市の指定を受けて、管理・運営しています。

4/3(水)からは避難所を兼ねた新棟がオープンしました。木を多く使った室内と、里山の眺望が見渡せる大きな窓が特徴です。4/7(日)はオープン記念を兼ねた『黒川里山マルシェwith花まつり』を行いました。地域の美味しいお店、里山で活動している団体の展示や自然体験などのワークショップ、演奏などのコーナーがあり、来場者は550名でした。地域のお寺やブドウ畑とも連携し、黒川地域一帯が盛り上がるイベントとなりました。

また、7月からは小学校部分が耐震改修工事に入る予定です。120年の歴史がある木造校舎を残しつつ、子どもの居場所や里山活用の拠点として使いやすい施設にリニューアル予定です。

今後も黒川の自然や文化を知るイベントをしていきますので、ホームページ、Instagram、Facebookをチェックしてください!(大橋 寛実)

イベントのご案内

里山林をつくろう ～人工林の伐採から～

人工林を伐採し道を通し里山林を作ります。
里山再生、自伐型林業、木材の活用、木工品づくりに興味のある方、農山村地域へ通うことや、移住に興味のある方はご参加下さい。

日時

①5月18日(土) ②7月20日(土) ③9月21日(土)
④11月16日(土) ⑤1月18日(土)

いずれも10時～15時

対象:小学校5年生以上 ※4年生以下が来る場合、下の子には付き添いの保護者の方が必ずついてください。

講師=黒川山活の会 ほか 費用=1,500円/1回

※詳しくは、里山センターHPまで



里山センター HP



NPO法人コクレオの森 2024年度

🍀 通常総会のお知らせ 🍀

今年のNPO総会は2024年6月15日(土)14:00～予定しております。

オンラインと会場のハイブリッド形式での開催です。総会の後、懇親会を開催予定です。

なお、総会議案書は後日メールにてお届けいたします。出席されない場合は、委任状等の提出をお願いします。

インフォメーション

こもたの森

子育てカフェ&子育てBAR こどもの森のハッピーアドバイス

子育てでいちばん大切なこと、
それは自己肯定感を育むことです。

子育てカフェ(土曜の昼):5/11、6/8、7/13
10:00-12:00

子育てBAR(木曜の夜):5/16、6/13、7/18
20:00-22:00

第2回 甘えと甘やかしの違い
第3回 子どもの話を聞こう
第4回 ○お話し会○自己肯定感の育み方

定員:子育てカフェ&子育てBAR/それぞれ20名
参加費:2200円/各回



《編集後記》

今号はこどもの森学園の卒業生&保護者の言葉がもりだくさん！名前を見て「なつかし～」と思われた方も多かったのではないのでしょうか。執筆に快諾くださり本当にありがとうございました。今号から郵送ではなくPDFでのお届けとなります。読みたくなったらすぐ読める！これがメリットですね。次号もお楽しみに！（郷間）

発行日:2024年4月26日

発行者:認定NPO法人 コクレオの森



〒562-0032大阪府箕面市小野原西6-15-31

TEL&FAX:072-735-7676

メール:info@cokreono-mori.com

URL:https://cokreono-mori.com/

はっしーインタビュー

Q こどもの森の好きどころ

A 中学部の人たちが好きってところが好きどころ

Q どういう部分で自分が成長したと思うか

A 人と関わることが前よりは多くなったので、人との接し方はちょっとは上手になったかなと思います。

Q こどもの森で印象に残っていること、楽しかったこと、面白かったこと

A 韓国はめっちゃ楽しかったかな。どんなところが面白かったっていうか面子がおもしろい。元々仲良かった人ともっと仲良くなれた。あと、真備が1年から2年ですごい成長したことが印象に残ってる。

Q 体験とか、初めて来たときにパッと印象に残ったことは

A 花咲が骨折したっていう印象が強すぎるのと、その時は(こどもの森が)おもんなそうやな~と思っていた。行く場所がなく、出席日数を稼がないといけないからこの学校に来たみたいなのところがある。最初の方はほんとおもしろくなかった。面白いな~って思い始めたのは3年生になってからかなって思う。去年はまだ自分が自分の事で精一杯というか、学校に行くこと自体がきつかった。今は楽しい。皆と仲良くなれて良かった。

Q 将来の夢、これからの方向性

A 将来の夢はないけど、親が海外で働いてたりしてすごい英語が得意な家なので、海外旅行行って英語喋ってる親はカッコいいと思うから英語を出来るようになりたい。だから高校では英語に重点を置いて勉強していきたいなと思います。あわよくば留学したいな~とも思う。

クイズ

はっしーが昔やっていた習い事はなんでしょう!

1 剣道 2 卓球 3 水泳

1 剣道 2 卓球 3 水泳



新しい場所でも頑張っ

ウッドテラスプロジェクトのこと

3 三学期は、四月から共同プロジェクトとして七人のメンバーで準備していた、中学部の学習スペースを広くしよう!と言うことで中学部一階の改装、ウッドテラス増設のためにクラウドファンディングを行っていました~((3/15べ切)たくさんのご寄付ありがとうございました!) 50万円という初期の目標を更に超え、ネクストゴールの80万円!には、及びませんでした、68万1,000円のご寄付が集まりました。四月からの準備期間、数々の話し合いを重ね、各々の役割を担いながら、課題を解決していき、クラウドファンディングページの準備に取り組んでいきました。スタッフや、色んな方に相談しながらページ公開までこぎつけました。クラウドファンディング中は活動報告を書いたり、マイプロ展に出展したり、毎日たくさんの方が送ってくださる応援メッセージの返答。様々な形でメンバー一同目標達成の為に頑張ってきた、その成果だと感じています。これからも、返礼品を書いたり、ウッドテラスをどんな風にするのか、そして大本命のウッドテラス、図書室改装工事など、話し合うことがまだまだたくさんありますがそれらもすべて楽しみながら、頑張っていきます!個人的に、クラウドファンディングが始まるまでは、あまり実感なくふわっとしたまま活動していた部分がありましたが、だんだんのご寄付が集まってくるにつれて、ウッドテラスプロジェクトに真剣に取り組むことができたのかな、と思っています。これからも私達の新たなチャレンジを温かく見守っていただけると幸いです!!

クイズの答え

1 剣道 2 卓球 3 水泳

vol.8 春、安定のギリギリ号!

INSANIS DAYS



モットケイカクテキニナリタイナ

なんとか3学期もすることができました insanis days です! 今回の insanis days は体調不良で3学期あまり学校に来れなかった方と、自分が insanis days のメンバーであることを忘れていた方の2名が不参加で、女子4人だけでやっています。こんなにグダグダして insanis days は続けていけるのでしょうか。vol.8 では、2023年度中学部卒業生へのインタビューと、今中学部で取り組んでいる共同プロジェクトのウッドテラスに関する記事の2つです。春休み、家で寝ていたい編集担当はなかなか集中モードに入れません。ちょっとテキトーな所もあると思いますがご容赦ください。それではどうぞ。

うぬインタビュー

Q こどもの森の好きどころ

A 自由に計画を立てられたりするところ、特にプロジェクトとかは楽しめたりする。

Q 最近はどうなことをしてる?

A まあ、卒業アルバム作ったりしてます、自分で絵を描いたり、

Q こどもの森に来て変わったところ

A 来る前は結構基礎学習とかしんどかったりしたけど、ここは優しく教えてくれたり楽々進んだ。前の学校と比べて2.5倍は変わったような気がする。

Q 子供の森で印象に残っていること

A 昼休みに二階にいる人たちとゲームをして楽しんでいる、人狼とかでよく笑ったりしている。

Q 将来、卒業してからのこと

A 高校は普通のバラ色生活を過ごしたいと思う。仕事は猫カフェとか動物園とかそういう動物とも仲良くなれることと YouTuber になりたいです。

クイズ

ウヌが将来活動しようと思っている YouTube チャンネル名はどれでしょう!

1 マガオマックス 2 エガオマックス 3 ナキガオマックス



※彼はどうしてもインタビューを受けるのが嫌で、自分のページがどうなってもいいよっていう許可を出してしまったのでこんな感じになっています。



えまインタビュー

Q こどもの森の好きなおとこ

A 一番好きなおとこは普通の学校だと、誰かと仲良くしてあのことそのことになってると白い目で見られることが多いけどこはそんなこともなくみんな仲良く接してくれて、嬉しい。

Q こどもの森に来て変わった事、成長したとこ

A 多分普通の学校以上に色々なタイプの人がいると思うから色々な人いる！って感じ(笑) 色々なひとと出会ったことが自分の糧になったんじゃないかなあ、

Q 印象に残っていること

A 夏祭りの二年のときジュースアイスをして楽しかったし、ベトナムが楽しかった3。韓国はイメージ通りだったけど、ベトナムは「ザ異国」感があつた。

ご飯も美味しかったし。辛い物は食べれなかったけど、

Q 将来の夢、これからのこと

A 将来の夢はめちゃくちゃあつて起業はしたいかなと思つてるけど将来全然違う事してそうやから信憑性はないです。起業は人の元で長く働くのが自分に適してないって思つたから人生で一回くらいはしときたいなつて思つて、色々な知識とかも手に入るなら一石二鳥三鳥かなあ。高校は人間関係がこどもの森とは違うのが不安。後一年くらいこどもの森いたかつたあ！！

クイズ

今のところのエマの将来したいこと(職業)はなんでしょう！

- 1 学者方面
- 2 オルタナティブとかの教育系
- 3 デザイン系



きらちゃんインタビュー

Q こどもの森の好きなおとこ

A 好きなおところは夏祭りとか、文化祭とか恒例行事があるところが好き

Q 三年いてみてどうだったか、自分が変わったところとか

A 人との接し方、関わり方が変わった。(だいぶ喋るようになった。でもあんまり喋らないけど。

Q こどもの森で印象に残っていること、楽しかったこと、面白かつたことなど

A 研修旅行かな。

Q 研修旅行、徳島とベトナムと韓国？それぞれメンバーとかも違つたけど一つ一つどんな感じ？

A 徳島はあんまり覚えてない。。けど、みんなで行く旅行っていうのが初めてだったから、新鮮な感じで楽しかつた。ベトナムは初の海外に行って食べ物も環境も違うし、楽しかつたけど食べ物とかが口に合わなくてちょっとしんどかつた。韓国は凄く楽しかつた。ごはんも美味しいしあとは観光？観光も行つて色々買えたり、色々食べたりしてすごく楽しかつた。

碧 他には何かある？

稀 プロジェクト楽しかつた。卒プロは初めてキャンパスに絵をかいて、難しかつたけど自分の中では上手くできたとつ思う。

Q 将来の夢、これからの方向性

A これからは天王寺学科に行つて美術のこと学んで大学は美術系のところに行けたらいいなつて思つている。

クイズ

きらちゃんが将来就きたい仕事はなんでしょう！

- 1 イラストレーター
- 2 アニメーター
- 3 キャラクターデザイナー



Q こどもの森の好きなおとこ

A 好きなおところはやっぱり自分主体で考えるとこつていうか、周りがこうしてるから自分もこうしなきゃとか、校則に縛られてるからとかそういうんじゃないで、自分が納得いかなかつたら集会とかでも出せるし、スタッフと低学年まで全員が発言権を持って公平なおとこがいいかなつて思つる。あとはやっぱり海外研修じゃない？

Q 自分が変わったと思つるか

A 結構思つる。例えば英語とか、話し合いの考え方とかも身につけてるとつ思うし、司会の進め方とかも含めて。勉強ももちろんそうやし、色々なこと、問題について考えるつていう力ももちろん成長してるとつ思うから、成長してるとつ思う。

Q こどもの森で印象に残っていること、楽しかつたこと、面白かつたこと

A 研修がやっぱり一番印象に残つてるとつ思う。あとは色々あるけど意外とめんどくさい人も多つと思つけど、俺は委員会とかも楽しかつた。全部が楽しいとは言わんけど、でも楽しいやつもあつたし。

Q 研修は徳島、ベトナム、韓国それぞれどうだったか

A 徳島は3年間の研修の中で一番日本語が通じるから、ワクワク度はどれもあんま変わらんかつたけど、対話部分では一番やりやすいし、深めれたと思つる。それが一番印象に残つてるとつ思う。ベトナムはなんも通じひんし、英語通じない時あつたから、逆にそれがびっくりしたりしたけど、ベトナムは刺激が一番多かつた。ちょっと疲れたところもあつたけど、刺激の部分では一番面白かつた。日本と全然違うから。異国。すごいパワフルやつたし。韓国は(英語より)日本語の方が通じて、それがびっくりした。事前の調べでは韓国は勉強がすごいから、英語結構通じるつて聞いたから思つたよりびっくりした。でも一番こうしてくればよかつたなつて思つるのは(オルタナティブスクールだけじゃなく)公立の学校にも行きたかつたなつて思つる。

Q 将来の夢、留学してからの方向性

A 将来の夢はいくつかあつて、これとはまだ決まてないけど、医者もなりたつし、カフェの店員にもなりたつし、のんびり暮らしたつていうのもある。ニートつてわけじゃないけど田舎に住んで、ゲームもしつづつ自足自給とか、町の人と仲良くなれるぐらいのああいう感じのところに住みたつていう夢もあるし。あと世界一周とか、世界を周りたつていうのはある。方向性でいつたら全然決まてない。留学でしたいことは英語力の向上のためと、色々な人に会えるから、そこから色々な文化とかを聞いて「おー」つてなりたつ(驚きたい)文化、価値観の違いとかそういうことがメイン。留学の一番いいところは文化について知れることやから。

クイズ

たつの留学先はどこでしょう！

- 1 アメリカ
- 2 イギリス
- 3 カナダ



こころちゃんインタビュー

Q こどもの森の好きなおとこ、自分が成長したと思つるところ

A 好きなおところは、自分の好きなおとこができるおとこで、成長したと思つところは、自分の気持ちを上手く伝えられるようになったかなつて思つる。

Q こどもの森で印象に残っていること、楽しかつたこと、面白かつたこと

A 研修旅行はめっちゃ楽しかつたなつて思つる。

Q 徳島はどうだった？

A 徳島はあんま覚えてない(笑)

Q 韓国はどんなところが面白かつた？

A ほぼコスメやけど、でも交流とかも楽しかつたなつて思つる。

Q 将来の夢、これからの方向性

A 将来の夢はネイリストで、高校卒業したらネイリストになる予定。

クイズ

こころちゃんが最近始めた習い事ことはなんでしょう！

- 1 キックボクシング
- 2 テコンドー
- 3 レスリング

